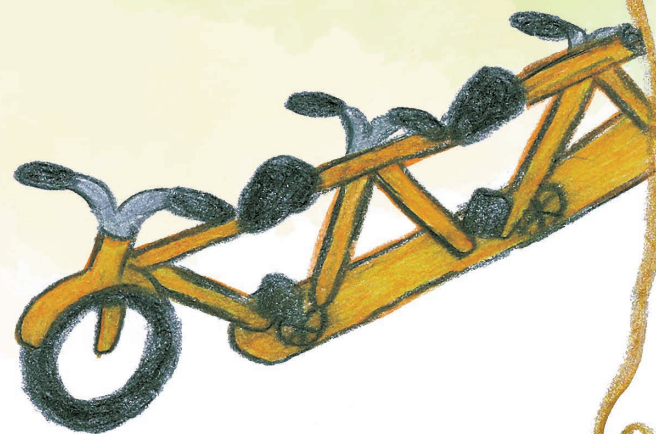


おんが



おんがにのる。



自転車

ぼくは柴いぬ 名前は ポンタ  
ゆうなちゃん家族と 暮らしています

スーちゃんは ゆうなちゃんのおばあちゃんです となり町に住んでいます  
スーちゃんは 生まれつき 目が見えません

ある日 スーちゃんの家へ遊びに行くと  
「ポンタ いいところへ来たわね 今から タンデム自転車に乗りに行くのよ  
一緒に行ってみない？」とスーちゃん

ぼくは もちろん 一緒に行くことにした  
でも 目が見えないおばあちゃんが 自転車に乗れるのかなあ？  
タンデム自転車って何だろう？ と 心配しながら ついて行った



なかよし広場ひろばに着くと

スーちゃんのように 目めが見えなくて 白しろ杖つえをもった人ひと 車くるまいすに乗った人ひとなど

障しょうがいのある人ひとたちが ニコニコしながら たくさん集あつまっていた

「こんにちは お天てん気きが良よくて 気き持もちよよく走はしれそうね」と スーちゃん

友とも達だちと手てを取とり合あって あいさつをす

目めが見えなくても 誰だれだかわかるらしい

ぼくも シッポをふ振りながら

「ポンタです こんにちはワン!」と ごあいさつ

シッポにふ触れた人ひとたちが ぼくをなでながら

「ポンタ君くん こんにちは よろしくね!」と こたえてくれた

ぼくらはすっかり 仲良なかよしになった



「開かい会かい式しきを始はじめますよ〜」

元げん気きな かおる先生せんせいの 声こえがひびいた

「イベントの せつめい 説明をしますね  
目の不自由な方へは“これ”“それ”“あれ”などとは  
言わないでください  
本人がほんにんいる所を ところ 時計の中心と かんが 考えましょう

みぎがわ 右側を“3時方向”  
ひだりがわ 左側を“9時方向” といえば  
よくわかんと思います

しょくじ 食事の時も おな 同じですよ  
てまえちゆうおう 手前中央6時のところに ま 巻きずし  
じ 4時のところに サラダ  
じ 2時のところに からあ 唐揚げがあります  
という言い方で い 説明してくださいね」



そして せんせい かおる先生が てまね ぼくを手招きしたので  
横に並ぶと  
「今日は きょう 新しい仲間が参加しています  
自己紹介してもらいましょう！」

「ぼくは しば 柴いぬの ポンタ ポンタですワン!  
友達になってください  
よろしくお願ひしますワン！」と あいさつした  
みんなが はくしゅ あたたかい拍手をしてくれた

なかよし広場には ひろば 自転車じてんしゃが なんだい 何台も並んでいる  
どれも二人乗りだけれど さんにんの 三人乗りもある

まえ 前に乗る人を パイロット パイロット  
その後ろに乗る人を Co-パイロット Co-パイロット っていうらしい

きょう げんき にい  
今日は 元気なお兄さんが パイロット Co-パイロットが スーちゃん  
パイロットがいてくれるから 体の不自由な人たちでも ペダルをこいで走れるんだな  
ぼくは安心した

にい  
お兄さんが 「右足から踏み込みますよ〜！」と 声をかけた  
スーちゃんも 元気よくスタートだ  
いいぞ いいぞ ぼくも走ろう！ わあ〜!! 速い 速い!!

「わあ〜 風が気持ちいいですねえ！」 スーちゃんは ゴキゲン!!  
「雲ひとつない 秋晴れですよ 左側に ポンタ君が走っていますよ」とお兄さん  
「あら そうでしたか！ ポンタがんばろうね！」 「楽しいワン！」

ひだりまえ じ ほうこう  
「左前11時方向 カメラマンが さつえいしていますよ」  
スーちゃんは 言われた方に 顔を向けてニッコリ



みぎ まわ 「右へ回ります ここからは右が山 左は川です」

やま いろ 山には 色づいたみかんが なっています みかんの木の下で サルが手を振っていますよ！」

スーちゃんも 手を振った

みると ぼくの友達の モンキチだった！

かわ かわ 「川には 川ガニがいますよ おやおや 大きなハサミを しきりに振っていますよ」

スーちゃんは おどろきながら ニコニコ手を振った

カニのチョキッパも ぼくの友達

パイロットのお兄さんは 目にみえることを 細かく伝えてくれる

スーちゃんは うなずきながら 聞いている とっても楽しそう

なかよし広場へ戻ると

「気持ちよかった〜！」「楽しかった〜！」と みんなが 笑顔いっぱい



「ポンタ君も タンデム自転車に乗ってみる？」と かおる先生が すずめてくれた  
ぼくは ヘルメットをかぶって 後ろに乗ろうとした  
すると お兄さんが ペダルに足が届くように サドルを下げてくれた

パイロットは ぼくのことを 気づかいながら 走り始めた  
タンデム自転車は なんて気持ちがいいんだろう 足のうらも熱くないや  
するとパイロットのお兄さんが  
「ポンタ君の脚は 力があるね パイロットが 出来るんじゃないかな？  
モンキチとチョコッパを誘って 乗ってごらんよ」

ぼくがパイロット まんなかにチョコッパ  
一番後ろにモンキチが乗った

なかよし広場を走った ぼくたちは一生懸命 ペダルを漕いだ  
かおる先生が  
「ポンタ君たちすごいよ！ かっこいいよ～！」と 叫んだ



閉会式が始まり かおる先生の 元気な声に注目  
「みんな 楽しかったかな～？」「はい！」  
満足そうな声と 拍手がわき上がった

「タンデム自転車は 誰にでも 楽しんでもらえるのだと  
ポンタ君の パイロット姿を見て 感動しました  
そこで ポンタ君に パイロットデビュー記念として  
タンデム自転車を プレゼントします  
ポンタ君 がんばって スーちゃんの  
パイロットが出来るようになると いいですね！」

思いがけない プレゼントに ぼくたちは嬉しくて  
サドルの上に 立ち上がって バンザイをした

ぼくは まいにちれんしゅう 毎日練習をして じしん 自信がついたので  
タンデム自転車じてんしゃに乗って いえ スーちゃんの家に行った

「こんにちワン! い てんき 良い天気だから じてんしゃ ぼくとタンデム自転車に乗らない?  
スーちゃんが い 行きたい所へ ところ 連れて行ってあげたいんだワン!」

「わあ～うれしい!! ありがとうポンタ あ ゆうなちゃんに会いたいわあ」  
「了解! りょうかい ゆうなちゃん ビックリするだろうね!」

さっそく スーちゃんは うし ぼくの後ろに乗った  
「みぎあし 右足から踏み込むよ ふ 1・2の3!! こ ヨーシ うま 上手く走り出したワン!」

しばらく行くと い ゆうなちゃんの家いえの近くちかの み コンビニが見えてきた  
スーちゃんとおしゃべりしながら はし 走って行くと  
ゆうなちゃんの家いえが見えてきた



「ゆうなちゃんが ぼくたちを <sup>み</sup> 見つけたようだワン！」

ゆうなちゃんが <sup>りょうて</sup> <sup>おお</sup> <sup>ひろ</sup> 両手を大きく広げて かけてきた

「ポンタ おばあちゃんを <sup>つ</sup> 連れてきてくれて ありがとう！」

ママもそばにきて

「<sup>じてんしゃ</sup> タンデム自転車って **すごいね!**

<sup>め</sup> <sup>み</sup> <sup>ひと</sup> <sup>ゆめ</sup> <sup>かな</sup> 目が見えない人の **夢を叶えてくれるんだね**」

ゆうなちゃんが

「**スーちゃんバンザイ! ポンタバンザイ!**

<sup>じてんしゃさいこう</sup> **タンデム自転車最高!**」と <sup>さけ</sup> 叫んだ

ぼくは みんなが <sup>よろこ</sup> 喜ぶすがたをみて <sup>なみだ</sup> 涙がとまらなかった



## メッセージ

この 絵本プロジェクトは タンDEM自転車活動を通して「心のバリアフリー社会の実現」を目指している タンDEM自転車NONちゃん倶楽部に届いた 一通のメールから 始まりました

生まれた時から 目が不自由で 自転車に乗る夢を 短歌にまで詠んでいた 渡辺純江さん

そんな純江さんの夢が 2012年3月9日 南予高速道路開通記念イベントで 叶いました

「タンDEM自転車」に乗って 高速道路を走るという 体験ができたのです

子供の頃からの夢が叶った 60歳からの純江さんはNONちゃん倶楽部のイベントで 九州の耶馬溪や 高知の四万十などにも出かけて行って タンDEMサイクリングを楽しんでいます

その喜びを 物語にして送って下さった時 このまま埋もれさせるのは勿体ない なんとか絵本にしたいという思いから スタートをきりました

編集にあたっては 高次脳機能障がいの方が リハビリに 使えないか？ 弱視の方に読みやすい字体は？ 子供の年齢にあわせて 漢字をどこまで使うか？ など考えてみました

ただ 残念なことに 点字を付した絵本の作成には 至りませんでした

そこで この絵本を 身体障がいの 中田帆乃花さん 視覚障がいの 松本葵さん 高次脳機能障がいの Solae(ソラ)さんに 読み上げていただくことにしました 点字絵本のかわりに 一つの物語を三人三様 それぞれの味を楽しんでいただこうと 考えたのです

NONちゃん倶楽部としては 「できるか・できないか」ではなく 「やるか・やらないか」を 大切に生き抜いていくことを 伝えていけたら 素敵です

認定NPO法人 タンDEM自転車NONちゃん倶楽部  
理事長 津賀 薫

CD制作 / 稲生三郎・愛媛県視聴覚福祉センター  
吹き込み / 中田帆乃花・松本葵・Solae(ソラ)

- 中田帆乃花さんは 呼吸器装着が必要ですが 絵を描いたり 本を読むのが大好きな 中学生  
将来の夢は 小説家・イラストレーター・YouTuber どれにしよう？
- 松本葵さんは 読み聞かせボランティアをしながら 子供の発達に関わる夢を持ち 保育士の資格も持っている タンDEM自転車仲間です  
今では オンラインでのお話会も 定期的開催するなど 挑戦は続いています
- Solae(ソラ)さんは 事故で失語症になりながらも リハビリに励み「起き上がり小法師」という物語を書き 絵本として出版しています  
そして 同じ障がいを持つ自助グループ【えこまち】のメンバーと共に 読み聞かせライブも継続中

—— ★ プロジェクトメンバー ★ ——

表紙 / 岡本みあさ

制作 / 池田昌子

編集 / 歩行訓練士：中川幸士 音声訳ボランティア：鈴木千草

読書愛好会：岩見由美・瀬野貴美枝・助田常盤・津賀薫・Solae(ソラ)

このプロジェクトには

- 自分の進むべき道を見失い 悩んでいた若者や 障がい児と共にイベントに参加し 楽しみや喜びを共有できた母 そして 失語症や認知症といった自らの体験を これから言葉のリハビリをする人に役立ててほしい など 強いおもいを持った方達にもご参加頂きました
  - 歩行訓練士 音声訳ボランティア 読書愛好会の仲間たちが それぞれの立場での目線を大切にしつつ 熱い思いを抱きながら編集に参加してくださいました
- 「共生」共に生きる喜びを表現できたことを 紙面をお借りして 厚くお礼申し上げます

そして 「このお話に 絵を描いてもらえませんか？」と 突然のお願いを申し出たにもかかわらず 快くひき受けて下さった 伊予銀行の水関有里恵さんに 心より感謝申し上げます

渡辺純江さんが 短歌にまで詠んだ夢叶う！

秋の野を ペダル踏み行く 夜べの夢

患者揉みつつ また思いおり

・ 夢を叶える愛言葉 ありがとう ・



沖縄 文 字/手留照(てるてる)  
デザイン/キジムナ前津



愛媛県「三浦保」愛基金

この絵本は愛媛県「三浦保」愛基金の助成を受けて作成しています

作 / 渡辺 純江 絵 / 水関 有里恵

発行所 / 認定 NPO 法人 タンデム自転車 NON ちゃん倶楽部

〒 790-0877 愛媛県松山市錦町 2-2

TEL/090-3189-5918 (津賀 薫)

Email/earth.worm@nifty.com